

「ゲートドデイサービスが一番」

出番です、おじいさんおばあさん



ふじしま
藤島

みつお
光雄さん (堀内・74歳)

普代の植物散歩 ⑱

「ツリガネニンジン (ききょう科)」

大森 竹之助さん (71歳・久慈市在住)



ツリガネニンジンには普代村の山野のあちこちで、例えば国道から入った村道などで、あるいは林道でもごく普通に見られる。しかし道ばたに生えているのは、草刈りで刈られるがそれでも、途中から茎を伸ばして

いる。写真は力持漁港に近い山側はかなり生えているものを撮影したもので、けわしくそばたつところにもよく育っている。つりがねの形をした淡い紫色の花は下向きで、七月から秋までと花

《263》

★：オレは安家(岩泉町)の生まれだども、堀内に来て四十八年にながし。炭焼きしてその後、出稼ぎをしたがー★：出稼ぎで富山県の黒部峡谷に行ったときは、おつかない思いついて稼いだなあ。ダムを造るため、発破掛けの仕事を手伝ったが、してーもんだよー。★：六十で出稼ぎをやめで、岩泉町の小本で銀サケの稚魚をあげがったがー。汽車どタクシーで三年通ったがー。手間(月給)がよがったねー。★：今はゲートポールとデイスサービスが一番の楽しみですだねー。



力持海岸周辺 (写真：大森さん提供)

期は長い。花冠は五つに分かれ、い

くぶん外側に広がり、花柱は一本花の外へ突き出ている。茎は細いけれどたくさんの花をなんなく支える強さがある。

ニンジン は白く太い根を朝鮮ニンジンにたとえた名であるという。



文芸の世界

川柳愛好会
七月例会作品

打ち寄せる波に足跡すぐ消され
妥協などしない強がり天の邪鬼
欲しかった靴が手にいり抱いて寝る
三上 翠香

仕事終え本陰の下でひと休み
夏の海静かな波に匂が浮ぶ
世知辛く半端仕事で食べらさず
深渡 汀女

足慣らし誰もが通るこの道を
入道雲影をおとして夏の海
古い靴遠い昔を語り出し
太長根英子

手のうちを見せあい妥協点さぐる
真夏日に本陰に集う人と風
半端布パッチワークで甦る
加差野静浪

目的があり足元軽い夏の海
いまここで妥協済ませて男捨て
約束はしない半端な風が好き

普代中体育祭

8月29日(日)

普代中グラウンド

